

# 中国が 『原子力航空母艦』を 建造中

習近平政権になってから中国は航空母艦の建造プランを強く進めてきている。

今回は「原子力空母」ということで、中国海軍は「東シナ海」「南シナ海」を超えて世界の中国海軍として覇権を打ち出した。アメリカ軍にとって代わろうというのだ。

アメリカのトランプ大統領は「北朝鮮

の背後にはかならず中国の習近平がいる。」「アメリカの真の敵は中国の習近平に違いない」と確信するに至る。

このタイミングで、「原子力空母」の建造が相次いで行われることはアメリカ軍のプレゼンスが縮小したところに中国海軍が出しゃばってきている印象が強く、誠に具合が悪い。



中国の習近平国家主席が4月12日、南シナ海で最新鋭艦艇長沙艦に上がり、将兵たちに演説

《世界の覇権を争う「アメリカ」と「中国」》という構図そのもの。

中国は「アメリカ」を完全に敵に回した。トランプ大統領は「北朝鮮問題解決」をこの1年の間、中国の習近平にお願いした手前、一時期は中国への攻撃の矛先を収めた。

ところが、習近平は何をやるにしてもきびきびした動きをしない。習近平がグズグズしている間に北朝鮮の「核ミサイル開発」はぐんぐん進んだ。北朝鮮の「ミサイル開発」のスピードは異例の速さ。「速すぎる」「おかしいな」と思っていた矢先に「ロシアのミサイル技術が提供されている」という情報が入ってくる。

### 「朝鮮戦争」再び!?

かつて、「朝鮮戦争」を戦ったのは「連合国アメリカ軍」「韓国」とロシア人将校だったといわれる金日成の「北朝鮮軍」と「中国義勇軍」。

Matthew B. Ridgway 大将の書いた『THE KOREAN WAR』には韓国兵が全員軍装備品を投げ出して一目散に逃げだしたあとに残って戦うアメリカ軍の兵士の奮戦模様が書かれている。

数にものを言わず中国義勇軍との闘い。

つまり朝鮮戦争は「アメリカ軍」と「中国義勇軍」の戦争であった、といえよう。『アメリカ軍』vs「ロシア・中国・北朝鮮」

の戦いという「冷戦時代の構造」となにも変わっていない。

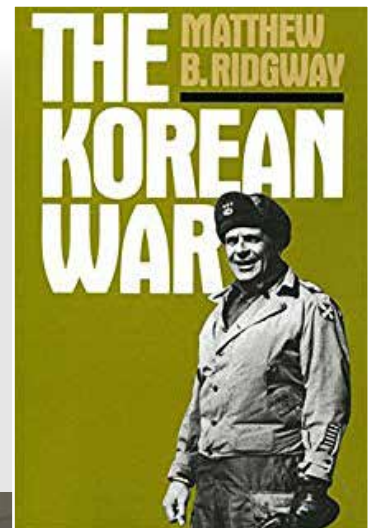
### ◆トランプ大統領は中国の不正貿易に本気で怒っている。

「クリントン」「オバマ」が中国を甘やかし、不正貿易に目をつぶっていたために中国はアメリカから莫大な利益を得た。そして共産党の中国は急成長・急拡大した。

「おめでたいこと」に、アメリカおよび自由主義陣営は中国も裕福になれば周り中の国に迷惑をかける乱暴なことはなくなるだろう、と善意的解釈をしていた。

しかし期待は見事に裏切られます。

チベット人を迫害し、ウイグル人を虐待、民族浄化を行っています。



中国人のやることはほとんど正常な人間の行うこととは思えない残酷で残虐な行為です。

生きている人間の臓器を取り出し、それを専用容器に移し売却しています。「法輪功」の信者が臓器を取られるvideoがインターネット上に散見します。チベット人、ウイグル人の男性は捕らえられ、強制的に断種させられます。女性は何千キロも離れた土地に強制移住させられ、漢民族の男子と結婚させられます。

そうして、民族を浄化して土地や地下資源を取り上げ、文句でも言おうものなら殴る蹴るの拳句に臓器を抜かれて殺されます。

私は、数人の日本に逃げてきているウイグル人の男女からクリスマスの日に横浜の関内駅に近いパーティー会場でその話を聞きました。クリスマスの「プレゼント交換会」で聞いただけにその格差はひどく離れていたのを忘れません。

中国、中国人は豊かになったらそれを武器の購入、開発費に回して軍事力で周囲の国を侵略、威嚇、買収して、影響力



を広げようとしています。

なぜなら、中国は共産党一党独裁の覇権国家だからすべての国を習近平皇帝の前に膝まずくまで侵略は終わりません。

## トランプ大統領の反撃

そのあたり、ようやく気が付いたのでしょう。トランプ大統領は中国の鉄鋼に25%の関税をかける、と公表。

中国の鉄鋼産業は世界の50%を生産しているといわれ、その工場はすべて中国の国営。鉄鋼産業の半分が潰れば中国共産党政権の半分も潰れる、と言われています。

トランプ大統領は習近平皇帝の一番痛いところを突いた、ようですね。

また、アメリカで「台湾旅行法」が可決。アメリカ合衆国および台湾の高級官僚の相互の訪問を促進する法律です。

トランプ大統領はただの「おじじ」ではなかったようです。おそらく次の段階では「北朝鮮と韓国」の蜜月関係など放り出し、**沖縄のアメリカ軍の一部を台湾に移転するのではないかと**思います。

そうしないと膨張する「南シナ海の岩礁埋め立ての中国軍事基地」を監視下におけない、でしょう。

「日本のシーレーン」は確保できます。また、台湾は世界有数の親日国です。

台湾は韓国のように反日ではないので

CSC高雄製鉄所の高炉群



日本の自衛隊もアメリカの駐留軍とともに同居させてもらってはどうか。

「アメリカ」・「台湾」・「日本」の3か国で『台湾』並びに「南シナ海の平和」を護れるのではないのでしょうか？

是非そうして欲しいし、また、そうするべきです。

地図をひっくり返して中国側から見れば、中国が海洋に出ようとする台湾・沖縄・日本列島が邪魔に見えます。

何かで読んだ気がするがナチスドイツの学問で『ゲオポルギー』というものがあります。日本語では「地政学」という、

と霞山会館で囲碁三昧をなさっているご老体に教えていただきました。

中国側に立って地図を見ると「尖閣諸島、沖縄は中国のものだ!」と言いたい気持ちがよくわかる。

だから、中国は沖縄県に手を突っ込んで翁長雄志県知事をコントロールしたいに違いない。

**翁長雄志県知事「沖縄からアメリカ軍は出ていけ」と言っているのだから、アメリカ軍の半分も台湾に移転すれば翁長雄志県知事も大喜びするのではないかしら・・・。**

中国が埋め立てを進める南シナ海のクアルテロン（華陽）礁。

